



楽しかった運動会



平成23年9月定例会では、市長から提案された27議案(人事1件、条例4件、その他4件、予算6件、決算12件)と、請願書等について審議しました。

委員会報告 5

各常任委員会が議案を審査

個人質問 6

聞きました こんなこと 12人

あなたと議会を結ぶ

# りっとう だより 議会

No. 160

2011年11月1日発行

発行/栗東市議会 編集/議会広報編集特別委員会  
〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13-33  
TEL 077-551-0137 FAX 077-551-0146  
メールアドレス/ gikai@city.ritto.lg.jp



# 9月定例会

採決結果の後に、「別表」とある議案の採決結果については、4ページの表をご覧下さい。  
「全」とある議案は全員一致で可決されましたので表への記載は省略しています。

## 人事

### 教育委員会委員に

#### 青地 優子氏

任期満了に伴い、青地優子氏を任命することについて議会の同意を求められました。

(同意)

本部等における検討を踏まえて障害保健施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するため

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例

の関係法律の整備に関する法律」の施行により、障害者自立支援法及び児童福祉法が改正されたため、関係する条例の改正をするものです。

(可決・全)

## 条例

### 一部改正

### 非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等

『障がい者制度改革推進



(可決・全)

### 税条例

現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正をするものです。

(可決・別表)

### 新たな条例

#### 職員の給与の特例に関する条例

職員の給料月額を各職階に応じて1%から7%まで削減率を設定し、平成24年1月1日から平成26年12月31日までの3年間で削減するものです。

(可決・別表)

## その他

#### 市道 4路線廃止

(可決・全)

#### 市道 12路線認定

(可決・全)

開発等による道路延伸のため、一旦、川辺芋田4号線他3路線を廃止し、開発等により延伸した川辺芋田4号線他3路線を再度認定。また、開発による道路の寄附・帰属のため8路線を認定するものです。

#### 指定管理者の指定について

地方自治法の規定に基づき、栗東市立学童保育所(金勝学童保育所ほか8施設)の指定管理者として、栗東市社会福祉協議会に期間を定め、指定するものです。

(可決・全)

#### 指定管理者の指定について

地方自治法の規定に基づき、栗東市障害児地域活動施設の指定管理者として、特定非営利活動法人チヨール栗東元気玉クラブに期間を定め、指定するものです。

(可決・全)

## 請願書

▼旧オール・デイ・エンジニアリング最終処分場の違法投棄に係る有害物調査の徹底と速やかな対処を求める請願  
(青木安司氏・大角泓氏)

#### 請願の内容

前定例会から継続審査となった請願である。  
(継続審査・別表)

#### ▼栗東西図書館の充実・存続を求める請願

(石黒やよい氏)

#### 請願の内容

子育て支援や福祉的施設としての役割を担い、市民生活に欠かせない大切な西図書館の廃止計画を撤回し、充実・存続を求める。

(不採択・別表)

#### ▼免税軽油制度の継続を求める請願

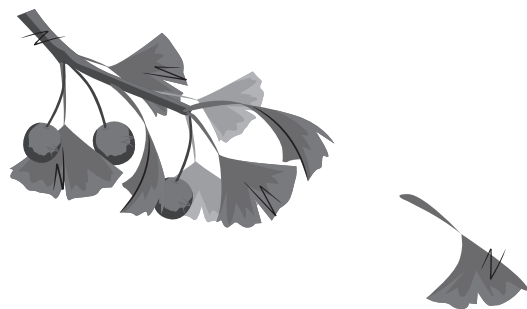
(滋賀県農民組合連合会 会長 北村富生氏)

#### 請願の内容

農家の経営に貢献してきた免税軽油制度が、地方税法の改正によって2012年3月末で廃止される状況である。しかし、地域農業の振興と食糧自給率を向上させる観点から現行制度の継続を求める意見書を政府関係機関に対し提出されたい。

(不採択・別表)





▼JR栗東駅におけるエレベーター設置に関する請願

(栗東のまちづくりを  
考える会 坂口賢洋氏)  
請願の内容

JR栗東駅西口におけるエレベーター設置計画、並びに駅改札構内のエレベーター設置に向けた県・JRとの協議経過を踏まえ、早急に計画実施することを求める。

(趣旨採択・全)

### 平成23年度 一般会計・特別会計補正予算

会計名	補正額	予算総額	主な内容	審議結果
一般会計	2127万4千円 (増額)	288億471万3千円	民生費・教育費等の増額	可決・全
国民健康保険特別会計	1億316万5千円 (増額)	48億4479万3千円	償還金及び還付加算金等の増額	可決・全
介護保険特別会計	1636万9千円 (増額)	22億6760万4千円	償還金及び還付加算金等の増額	可決・全
水道事業会計	1億2681万円 (増額)	28億9150万1千円	建設改良費の増額	可決・全
公共下水道事業特別会計	93万7千円 (増額)	35億5393万9千円	一般管理経費の増額	可決・全
農業集落排水事業特別会計	150万円 (増額)	3335万7千円	工事請負費の増額	可決・全

予  
算

### 平成22年度 一般会計・特別会計決算

(単位：円)

会計名	決算額	結果
一般会計	32,913,509,014	認定・別表
土地取得特別会計	221,328,971	認定・全
国民健康保険特別会計	4,845,853,768	認定・別表
老人医療保健特別会計	3,761,117	認定・全
後期高齢者医療特別会計	365,907,259	認定・別表
介護保険特別会計	2,074,925,749	認定・別表
墓地公園特別会計	4,508,523	認定・全
大津湖南都市計画事業栗東駅前土地地区画整理事業特別会計	91,213,749	認定・全
大津湖南都市計画事業栗東新都心土地地区画整理事業特別会計	81,888,101	認定・全
水道事業会計	1,552,858,620	認定・全
公共下水道事業特別会計	3,267,248,481	認定・全
農業集落排水事業特別会計	31,689,463	認定・全

決  
算





## 賛否が分かれた案件の採決結果一覧

多=賛成多数(可決・認定・継続審査) 少=賛成少数(否決・不採択) ○…賛成 ●…反対

会派名		新 政 会								公 明		再 生	ネ ッ ト ワ ー ク			共 産 党					
件 名	議員名	採決結果	下田善一郎	藤田啓仁	北川健二	寺田範雄	三浦悟	林史代	上田忠博	片岡勝哉	高野正勝	小竹庸介	櫻井浩司	國松篤	田村隆光	林好男	中村昌司	太田浩美	大西時子		
			<b>■ 議 案</b>																		
税条例等の一部改正		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	
職員の給与の特例に関する条例		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
平成22年度	一般会計歳入歳出決算認定	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
	介護保険特別会計歳入歳出決算認定	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
<b>■ 請願書</b>																					
旧アール・ディ・エンジニアリング最終処分場の違法投棄に係る有害物調査の徹底と速やかな対処を求める請願		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	退席
栗東西図書館の充実・存続を求める請願		少	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○
免税軽油制度の継続を求める請願		少	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○

## 採決結果

\* 議長(山本章議員)は採決に加わらない  
\* 会派名の略称は次のとおり  
公明→公明栗東 再生→栗東再生 ネットワーク→栗東市民ネットワーク 共産党→日本共産党議員団

## 選挙管理委員、補充員決まる

選挙管理委員会委員と補充員の任期が、10月31日で満了になることから、選挙(指名推選)を行いました。  
選挙の結果は、次のとおりです。

○選挙管理委員会委員

小田 保 氏

亀田 靖江 氏

谷口 一夫 氏

寺井 利夫 氏

○選挙管理委員会委員補充員

片岡 秀之 氏

澤頭 弘 氏

竹内 喜六 氏

竹村 利三 氏



## 臨時会

7月12日、第5回臨時会では、次のことについて審議しました。

### 市政特別功労者の決定

市政の振興発展に寄与され、特にその功績が著しかった次の3名の方を市政特別功労者に決定することにつき議会の意見を求められました。

尾田 昭代 氏  
西田 桓一郎 氏  
國松 正一 氏  
(適任)

### 農業委員会委員の推薦

任期満了に伴い、新たに次の3名の方が議会推薦の委員に決まりました。任期は、平成23年7月20日から、平成26年7月19日までの3年間です。

川邊 一朗 氏  
山元 伊三男 氏  
小田 茂雄 氏  
(推薦決定)



# 委員 会 報 告

## 総務常任委員会

平成22年度一般・特別会計  
決算認定及び平成23年度補正予算

当委員会は、付託された  
条例3件、予算2件、決算  
5件、請願書2件について  
審査をしました。

平成23年度一般会計補正  
予算では①耐震シェルター  
の補助金と啓発は。②消  
防団員の欠員の状況と、補  
充への対応は。③県・市議  
会選挙に係る選挙掲示板を  
共用する考えは。などの質  
疑に対し、当局から①県費  
100%の事業で、議決され次  
第、広報等で啓発する。②  
欠員は6名で、補充は自治

会や各分団で取り組んでも  
らっている。③経費面を考  
え継ぎ足す方法等検討する。  
との答弁がありました。採  
決の結果、全員一致で原案  
どおり可決すべきものと決  
しました。

平成22年度国民健康保険  
特別会計決算認定では、医  
療費通知の趣旨が周知され  
てないのではとの質疑に対  
し、趣旨は医療費を知って  
いただくと共に、不正請求  
の防止効果もあるので、周  
知に努める。との答弁があ  
りました。他に質疑もあり  
ましたが、採決の結果、全  
員一致で認定すべきものと  
決しました。

請願書2件のうち、JR栗  
東駅エレベーター設置に  
関する請願については、現  
地を視察して、趣旨は理解  
するが、財政事情からすぐ  
の着手は困難との意見が出  
され、採決の結果、趣旨採  
択すべきものと決しました。  
免税軽油制度の継続を求め



車いす使用可能なエスカレーター

る請願については、不採択  
すべきものと決しました。  
職員の給与の特例に関す  
る条例について委員から、  
①職員数と給与削減額は。  
②職員組合との協議・合意  
は。③定期昇給や昇格時に  
逆転現象が起こる可能性は  
などの質疑に対し、①職員  
数463名で削減額約6千100万  
円。②期間は3年とし、毎  
年協議する。③定期昇給は  
逆転することはない。昇格  
においてメリットの方が大  
きい。との答弁がありまし  
た。その他条例2件、採決  
の結果、全員一致で原案ど  
おり可決すべきものと決し  
ました。

## 環境建設常任委員会

### 決算認定及び補正予算

③シルバー人材センターへ  
の委託事業が減っているが  
考えは。④市営住宅公募は  
年2回から4回にならない  
か。⑤間伐材が災害時の被  
害拡大に繋がるのではない  
か。などの質問に対し当局  
から①約960万円程度である。  
②水質調査の結果問題はな  
い。③センターの育成を図  
るうえでよりよい方向性を  
考える。④公募は6月と12  
月に行い、申し込みから公  
募の期間を考えて年2回と  
している。⑤国から持ち出  
し方針が出ており今年は17  
畝を切り出した。との答弁  
がありました。

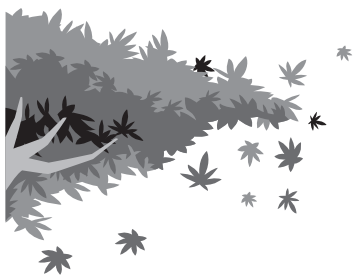
水道事業会計決算認定で  
は、給水収益の18%減の理  
由は、との質問に対し、大  
口の使用水量の減、一般家  
庭においては節水意識が高  
まったと分析されるとの答  
弁がありました。

平成23年度一般会計補正  
予算では、小口簡易資金の  
代位弁済件数は、との質問  
に対し、22年度は3件であ

るとの答弁がありました。  
また5月・7月の長雨によ  
る墓地公園の法面やこんぜ  
の里水車公園水路等の復旧  
事業に必要予算の説明を受  
け審議しました。水道事業  
会計では、出庭水源地下水  
に係る委託料とは。との質  
疑に対し、建屋工事等で専  
門的に工事監理が必要なた  
めの委託料である。との答  
弁がありました。



出庭水源現地現場視察



## 文教福祉常任委員会

### 市民の願いである 西図書館の存続が決定

当委員会は、付託された議案7件と請願書1件について審査を行いました。

平成22年度一般会計歳入歳出決算認定について、委員から①民生・児童委員が空席の自治会にはどのように対応しているのか。②保育士の雇用確保についての対応は。③AEDの不具合に対する本市の点検状況は。④児童館の運営体制が変化したがその影響は。⑤学校給食の食材の地産地消費率は。給食のホームページの更新がされていない。⑥西図書館は存続される見通し

となったが、指定管理者導入の予定は。などの質問に対し、当局からは①地域間の協力によりカバーをお願いしている。②正職で5人程度の採用予定である。③日常的にチェックし、パット・電池の交換時期点検をしている。④1日当たりの利用者が多くなった。⑤生産野菜で市内産33%、県内産57%である。こまめに給食のホームページを更新する。⑥指定管理者の導入予定はない。との答弁がありました。反対討論はありましたが、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

平成22年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、委員から①介護認定の申し込みから認定までの期間は。②認定者数と実際の介護保険利用人数に差があるが、どのように捉えているのか。③介護保険料未納の実態は。④「いきいき百歳体操」などの事業開催箇所が9ヶ所は少ない。業開催箇所が9ヶ所は少ない。などの質問に対し、当局から①4月当初の52日程度から40日程度に改善している。②認定が決定しても本人がサービスを拒否するケースもある。③年3回、説明のため訪問して徴収に努めている。④現在は16ヶ所に増えてきた。今年との目標は、20ヶ所としている。との答弁がありました。反対討論もありましたが、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

その他、5議案については、採決の結果、全員一致で原案どおり可決すべきものとし、また請願書1件については討論もなく採決の結果、挙手少数で不採択すべきものと決しました。



## 個人質問

9月14・15・16日の3日間、12人が質問しました。  
質問と答弁の要旨をお知らせいたします。

### 栗東西図書館の存続を願う 林 史代 議員



**問** 栗東西図書館の利用率は高く、周辺においても経済波及効果がある。存続を願う市民の声を、市長はどのようにお考えか。

**答** 議会をはじめ地域や市民の皆様からの存続要望が強いことから、運営経費を最大限削減する中で存続していく。

**問** コミュニティセンターの今後の展望は

**答** コミセンの方向性は、地域課題の検証などより地域に根差した施設の活用を図る。

**問** 施設の賃貸の対応は。

**答** 現時点では契約更新により施設の維持を図る。

**問** 小中学校の空調について

**答** 扇風機だけの対応では難しいようだが、改修工事等に伴う工夫(遮熱塗料等)は出来ないか。

**問** 「空調設備設置基本計画」を策定すべく作業中。費用対効果も考え、取り入れられる事は検討する。

**答** 「空調設備設置基本計画」を策定すべく作業中。費用対効果も考え、取り入れられる事は検討する。



小中学校の扇風機





# 夢と希望を持てる アグリの郷栗東を観光名所に

北川 健二 議員

できる方向で検討したい。  
イベントは年4回程度実施  
名所になるように助言する。



アグリの郷栗東から見た新幹線

**問** アグリの郷栗東の販売促進のために①最高スピードがでている新幹線を背景に記念写真が撮れる。②写真撮影ができる展望台の設置とイベントを行っては。

**答** ①地元の農産物の加工販売として10年間販売に力を入れてきた。有限会社で管理委託のため提案を検討し、積極的に進めていきたい。②展望台の設置については協定上、双方協議して前向きに設置

**問**

くりちゃんバス 大宝循環線・宅屋線が統合運行され市役所へ行きにくい。①大宝西学区の人が駅西口から東口へ移動しての乗り換えでは不便では。②高齢者の移動手段は公共交通機関が必要では。

**答**

①大宝循環線から市役所方面に來られる方は栗東駅西口のエスカレーターと東口のエレベーターを利用してご不便をおかけするがご理解とご協力をお願いしたい。②利用者の要望により最寄の駅方面や病院等へと、都度見直しを図ってきた。今後もバス対策協議会で検討する。

## 更なるスポーツの振興を

片岡 勝哉 議員

**問**

(社) 体育協会・(財) 文化体育振興事業団の組織統合の進捗状況と今後のスポーツ振興策は。

**答**

本年10月1日に財団法人栗東市体育協会が設立の予定である。スポーツ振興には、財政基盤の強化や裁量権の獲得により、市民にわかりやすい組織となりスポーツ環境の条件が整うこととなる。

**問**

24年度中に一定の方向を出し、出土文化財センターを拠点としていくことになる。

**答**

営農意欲低下をもたらし有害鳥獣による農林業被害が一向に減らない原因は。

**問**

イノシシ・シカ等が近隣市にわたる広大な鳥獣保護区で繁殖してしまい、箱わなや狩猟期の捕獲だけでは追いつかない状態である。

**答**

今後は鳥獣被害防止特措法のもと広域での行政連携・連絡協議会の立ち上げ等を主体的に行えないか。

**問**

他市との連携ができていないが、今後は担当者同士が連絡会の立ち上げ等前向きに考えていく。

**問**

今後、(財) 体育協会が埋蔵文化財業務を続けることについては。



## 後継プラン促進と 湖南地域の活性化を

寺田 範雄 議員

**問**

後継プランの早急な完遂と、周辺地域の交通渋滞の解消および、手原駅への通勤路の安全確保と駅周辺の活性化・草津線整備計画を問う。

**答**

後継プランの各事業は短期的に早期に完遂させることが重要と考える。安全確保と交通渋滞の対策は、骨格道路等の整備の中で、手原駅とのアクセスとあわせ、県と共に検討する。地域住民等の鉄道利用拡大を図り活性化に繋げる努力をする。



交通渋滞の様子

**問**

実践的心の教育推進と地域ボランティアの支援を。

**答**

全教育活動を通じて道徳的な実践力向上に努める。地域支援の形を検討する。

**問**

各種団体役員の見直しを。簡素化を

**答**

市の審議会、委員会等の委員候補に努め、統合化等検討をしていく。



# 「もし、今日、栗東市に大地震が起こったら」、その対応のシミュレーションは

國松 篤 議員

**答** 道路の復旧が第一であり、長時間孤立集落が続くなら、県の防災災害ヘリコプター等により対応する。

また食糧等についても、今後検討する。

**問** 大型マンション等の防災体制の充実について問う。

**答** 建物全壊よりライフラインの途絶が予想される。近くに広域避難所を設けているが、さらなる対応については、食糧・避難場所について設定していく。

**問** 大規模な地震が発生した場合には、緊急に対応すべき事態に対し、職員数の不足が予想される。本市の職員の参集率について問う。

**答** 震度が6弱以上は、職員全員が参集する。地震発生後、1時間以内では50%強の参集率を想定している。

**問** 孤立集落の対策について問う。



震災により被害をうけた建物

**問** 観光振興のまちづくりの為に「JRA栗東トレセン」を生かす馬のブロンズ像通りを構築推進してはどうか。

本市としては「JRA栗東トレセン」を栗東ブランド化の一つであると認識し、今日までJRAとタイアップした事業も展開している。現在検討している構想の一つである、ブロンズ像を構築する(仮称)「サラブレッド

通り」の事業化に向けて取り組んでいく。

## 活力ある街づくりをめざし 観光振興とブランド化の推進を

三浦 悟 議員



トレセン入口 シンザン号像

不法投棄防止 対策の強化を

**問** 巡回パトロールの現状は。

**答** 「不法投棄防止」看板を設置し未然防止に努め、不法投棄監視員、ボランティア監視員及び職員で行っている。

**問** 県との連携と今後の対応策を伺う。

**答** 県においてもパトロールを実施している。今後、警察並びに不法投棄監視員の方々と連携し不法投棄の未然防止に努める。

## 西図書館の存続を

林 好男 議員

**問** 本市の事業を見直す中で、西図書館問題をどのように決定されるのか。

**答** 運営経費節減の中で存続する。

**問** 危機的財政状況の中、職員の更なる創意工夫と、市民の最大限の理解・協力が必要であるが。

**答** 図書館については多くの市民に支えられている。例えば、読み聞かせボランティアの形で図書館や学校に向いて活動していただいている。また今年度からは、雑誌のオーナー制度でも多くの個人、法人の方に協力していただいている。

**問** 本とのよりよい出会いができる図書室

現状と課題は



図書室の様子

に訪れやすい読書環境づくりが必要では。

**答** 読書環境は、蔵書数、周りの方の支援、本に親しむ図書室の環境づくりが必要。ボランティア、図書館司書とも連携をとり進める。

**問** 蔵書数の他市との比較は。

**答** 国の基準に対する達成率が69%と他市に比べて低い。今後予算化の中で冊数を増やしていく。



# RD最終処分場問題について

櫻井 浩司 議員

**問**

県がよりよい原位置浄化策を取り下げたことを事前に本市に連絡があったのか。

**答**

そういった連絡はなかった。

**問**

本市が県から軽視されているのでは。

**答**

県に対しては、住民の合意と納得が得られるよう強く努力を促している。

**問**

本市が傍観者になっっているような印象をもたれているが。



RD調査検討委員会

**答**

傍観者ということではなく、県との関係をつくり、解決に向けてどのような一歩を踏み出せるかを考えている。今後も言うべきことは言っただけ対応する。

コンパクトシティについて

**問**

将来に向けて、栗東駅と手原駅を核とした街づくりが必要と考えるが。

**答**

今後、交通の利便性を活かした環境にも優しいコンパクトシティの概念を目指し、この二つの地域を核に、元気な栗東づくりに取り組み。

広聴活動の充実について

**問**

広く市民の声を聴くための工夫は。

**答**

市長への手紙や様々なアンケート調査等を行っており、今後は改善中のホームページ内でも多くの市民の声を聴けるよう工夫する。

# 日々の生活に安心・安全を

小竹 庸介 議員

**問**

県のがん対策推進計画のがん検診受診率50%目標の結果は。

**答**

職場や人間ドック等で受診されている方々の把握は難しく数値を加えていないことから受診率は低い。今後は結果が出せるよう研究する。

**問**

全国的にAED管理等は大丈夫か、また、土日のスポーツ少年団等の活動で緊急時に使えるのか。

**答**

メーカーが示す点検は実施済みで

あり、日常管理についても日々確認をしている。現在の小学校の状況では、緊急時には使用出来ない可能性が高く、学校と関係者で改善が出来ないか検討する。

**問**

防災教育は大丈夫か。

**答**

毎年、災害を想定して実施をしているが、今後は、登下校中の対策も検討する。

**問**

防災に必要な防災マニュアル等がインターネットで見られない。また、緊急時の要援護者対策は。

**答**

防災マニュアル等については市のホームページに掲載し、要援護者については、命のバトンの取り組みを進めたい。



土砂災害警戒区域 法面補強工事

**問**

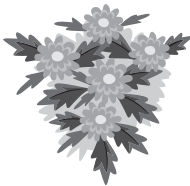
平成24年度に栗東西図書館の廃止計画が上がっている中、継続を求める要望書・請願書が提出されているがその対応は。

**答**

要望内容を真摯に受け止め、あらゆる角度から検討し、運営に係る経費を最大限削減する中で存続をする。

# 栗東西図書館の存続を

大西 時子 議員



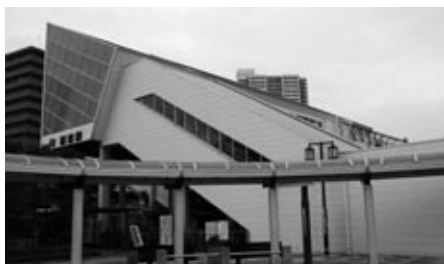
**問**

JR栗東駅構内及び駅西口にエレベーターの設置計画を

設置計画を願う請願書が提出されている。バリアフリー新法に基づき、平成32年までにエレベーターの設置計画はあるのか。

**答**

エレベーターの必要性は十分に認識している。現在の本市の財政状況から今すぐの設置は困難な状況である。駅西口エレベーター設置は計画していない。駅構内は、JR西日本での設置を引き続き要望していく。





# 市長選挙公約の実現に向けた積極的な対応を

太田 浩美 議員

**問** 「就学前の医療費無料化」と「小中学校へのエアコン設置」実現への対応は。

**答** 就学前医療費は一部負担を継続。エアコンは年次的な設置計画を立てる。



地下水汚染の原因物除去を

**問** RD処分場で高濃度の揮発性ガスが検出された木くず焼却炉付近を深く掘削し、有害物を除去されたい。

**答** 県市連絡協議会で、県に対して強く意見を申し入れる。

市民の視点から見る企業誘致の効果は

**問** 「後継プラン」の総事業費と企業誘致の税収効果は。

**答** 総事業費は約68億円。当初10年間の税収効果は、1期事業で5億円、2期事業で8億円と試算している。

**問** 地元新規雇用の現状と今後の雇用の拡大の見通しは。

**答** LEJ社の8月末までの市内新規採用者は2名で、雇用拡大に向け指導する。

**問** 教育施設等への空調設備設置について「空調設備整備基本計画」の進捗状況を示されたい。隣接市の草津市ではすでに幼稚園、小・中学校の空調設備設置工事を完工され、市民や保護者からも大変好評であるとのことである。空調設備の設置は、近年の記録的猛暑への対応に出来ない、また設

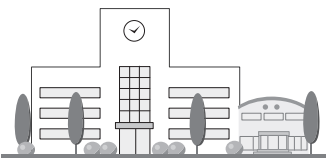
置場所である教育施設は本市の広域避難場所にも指定されたところが多く、防災対策上の避難場所の整備、充実に資するものである。実施に向けた本市の見解を伺う。

**答** 昨年夏の記録的猛暑に見舞われたことから市内教育施設の冷房化に向けて「空調設備設置基本計画」の策定を進めている。

本年度は、夏休み期間中に各施設の現状設備状況や現状把握の調査を終えたので、この調査をもとに概略費用等を算出し、設備導入への費用対効果等の検討を進めていきたい。

## 教育施設等に対する空調設備設置の促進を

中村 昌司 議員



## 傍聴にお越しください

本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴できます。開会時間は、9時30分からです。日程については、現段階ではあくまで予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承下さい。

12月6日	本会議（議案上程等）
13日～15日	本会議（個人質問）
16日～20日（土・日除く）	各常任委員会
22日	本会議（委員長報告・採決）

（問い合わせ先）議会事務局 TEL 551-0137

12月定例会の予定

## 編集後記

今年、3月の東日本大震災に続き、夏は台風による多くの被害が起きました。国の財政は、災害や円高等により逼迫し、地方財政も厳しさを増しています。栗東市では、新幹線新駅中止後の後継プランやRD産業廃棄物処分場問題など、重要案件を抱えたなかで、財政健全化に向け「新集中改革プラン(素案)」に取り組まれています。市民生活への影響が最小限となるよう、議会としても、十分議論するなかで、安心・安全のまちづくりを市民協働の立場で進めてまいります。

議会広報 編集委員一同